

離島航路の統合について

議員 笠岡市地域公共交通活性化協議会海上交通分科会の現在までの取り組みの状況を示していただきたい。
市長 旅客船航路の統合に向け鋭意検討を進めている。旅客船3社の今後の経営体制のあり方を提案する経営診断調査と、航路統合後の航路体系を提案する航路診断調査を行い、年度末までに航路改善計画を策定しようとしている。

経営診断調査においては、一定の条件のもとに三洋汽船株式会社を存続会社として、豊浦汽船株式会社と六島航路有限会社との合併を行うことが提案されている。航路診断調査においては、3社が合併し、経営の効率化を図ることを前提に、2つの案で航路体系のシミュレーションを行い、いずれも大幅に運航経費の圧縮が可能と提案されている。



笠岡港

自治基本条例の見直しについて

議員 条例にある市民と行政、また市民と議会と執行機関が対等であるかの表現は憲法上からしても適切ではないのではないかと。今後見直しを含め、検討できないか。
市長 自治基本条例に定めるそれぞれの役割と責任を果たし、協力して市政を推進していこうというものがあり、見直しを検討することは考えていない。

地域組織との協働システム構築計画について

議員 計画案の趣旨と目的を明らかにしていただきたい。
市長 地縁組織との協働は、本市の10年後、20年後のあり方を左右する大切なものであるという認識のもとに、地域と行政が、お互いに共通の認識と理解のもとに、力を合わせて持続可能な地域づくりを進めていくことで、住みやすい笠岡を残していくことができると考えている。

金藤照明議員

介護全般について

議員 地域で暮らせる環境を拡大するため、小規模多機能施設が望まれるが、設置促進への取り組みをどのように考えているのか。
市長 小規模多機能型居宅介護は、デイサービス、ホームヘルプサービス、ショートステイが一体型となっている理想的な居宅介護サービスである。しかし、総

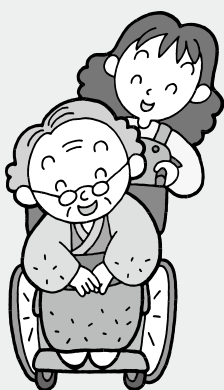
高齢者の補聴器助成について

合的なサービスのため多くの介護従事者が必要であるので、採算面から見ると、事業所数を増やすことは困難な状況である。そこで、本市は、新規事業者が開設しやすいように、市独自の報酬加算を導入して新規事業所を増やすように呼びかけている。

学校図書館等の整備充実について

議員 学校図書館は、子どものときから読書環境を育む大切な施設である。平成19年度から始まった学校図書館図書整備5カ年計画の進捗状況、達成度をたずねる。
教育長 この計画は、学校図書館図書標準率の達成を目標としたもので、本市の小

学校19校中、平成19年度は10校、平成20年度は11校が達成している。中学校は9校中、平成19年度は2校、平成20年度は達成が4校となっている。



議員 高齢者の方から「補聴器を買いたいけど、笠岡市には助成制度はないのでしょうか」と相談を受けた。担当課にたずねると、障害をお持ちの方はあるが、健常者についてはないということだった。来年度からは、18歳以下の子どもには補助があるが、高齢者に優しい取り組みができないか。
市長 高齢者で身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中程度の難聴の方については、市独自の補助ができるよう、実態を把握しつつ、前向きに検討していきたい。